

船舶事故等調査報告書

平成21年7月30日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | | |
|-------------|---|--|
| 事故等番号 | 2009神第129号 | |
| 事故等種類 | 乗揚 | |
| 発生日時 | 平成21年3月29日 10時00分ごろ | |
| 発生場所 | 徳島県鳴門市撫養町大桑島 宝海運株式会社倉庫岸壁付近 | |
| 事故等調査の経過 | 平成21年5月12日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。 | |
| 事実情報 | | |
| 船種船名、総トン数 | 貨物船 あかつき丸、199トン | |
| 船舶番号、船舶所有者等 | 135149、平野海運有限会社 | |
| 乗組員等に関する情報 | 船長、五級海技士（航海） | |
| 死傷者等 | なし | |
| 損傷 | ローリングチョーク及び推進器翼曲損 | |
| 事故等の経過 | 本船は、船長ほか3人が乗り組み、船首約2.90m、船尾約3.65mの喫水で鳴門海峡の潮待ちのため徳島県鳴門へ寄港し、いつも使用する岸壁に着岸しようとした際、平成21年3月29日10時00分ごろ、船尾船底付近に衝撃を受けた。 | |
| 気象・海象 | 気象：平穏、視界 良好 海象：潮汐 上げ潮中央期 | |
| 分析 | 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析 | あり なし なし 本船は、着岸作業中、岸壁付近の水深に対する確認を適切に行わなかった可能性があると考えられる。 |
| 原因 | 本事故は、本船が着岸作業中、岸壁付近の水深に対する確認を適切に行わなかったため、浅所に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。 | |